



# 市議会だより



令和7年度交通安全啓発ポスター 宇治市議会議長賞  
菟道小学校4年生 上林 瑞季

## contents

- 02 ◆ 12月定例会の概要  
市民と議会のつどい開催の  
お知らせ
- 03 ◆ 議決結果
- 04 ◆ 議事内容（抜粋）
- 05 ◆ 令和6年度 決算審査報告
- 06 ◆ 常任委員会の報告
- 08 ◆ 一般質問
- 15 ◆ 行政視察報告

vol.180

2026. 3. 1

発行/宇治市議会  
〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地  
TEL.0774-20-8747 (直)  
編集/広報委員会

# ◆ 一般会計補正予算

物価高対応子育て応援手当費

水道料金等減免事業補助金

うじの生活おうえんデジタルクーポン事業費

**可決**

## 12月 定例会の 概要

12月定例会は12月2日から24日までの23日間の会期で開かれ、市から提出された「令和7年度宇治市一般会計補正予算（第5号）」をはじめとする26議案が可決・認定・承認されました。（3面に議決結果を掲載）

市政に関する一般質問は、12月9日、10日、11日の3日間にわたり、15人の議員が個人質問を行いました。（8～15面に掲載）

## 自治功労者の推薦を承認

議会は、次の10名の自治功労者の推薦を承認しました。

### ●市議会議員

はっとり ただし  
服部 正

いまがわ みや  
今川 美也

かながさき ひであき  
金ヶ崎 秀明

おかもと さとみ  
岡本 里美

なかむら まいこ  
中村 麻伊子

やまざき たすく  
山崎 匡

おおかわ なおゆき  
大河 直幸

にしかわ ともやす  
西川 友康

きもと ひろあき  
木本 裕章

### ●前民生委員・児童委員

せきど やすお  
関戸 安夫

（敬称略）

## 第10回 市民と議会のつどい

市民の皆さまに議会の活動を知っていただき、同時に貴重な意見やご提言をいただくため「市民と議会のつどい」を開催します。（※）

今回、10回目の開催となります。小中高等学校の児童生徒の皆さまをはじめ、市民の皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

日時：令和8年 4月19日(日)  
13時30分～（2時間程度）

場所：宇治市役所 議会棟 3階 第3委員会室

内容：令和8年度予算の審査内容について

主権者教育の一環として  
実施しますので、児童生徒の皆さんも  
ふるってご参加ください！



▲昨年の市民と議会のつどいの様子

※事前申込制（当日参加可）、手話通訳および保育（生後5カ月から就学前まで）を希望される方は、事前に議会事務局までお申し出ください。※保育の申し込み締め切りは4月15日（水）です。

詳しくは、市議会ホームページ、主な公共施設に配架するチラシなどでお知らせします。

☎ 議会事務局 TEL0774-20-8747（直通）

会派の紹介

未来=うじ未来【松峯、真田、服部、今川、岡本、角谷】  
 共産=日本共産党宇治市議員団【宮本、坂本、山崎、大河、徳永、谷上】  
 自民=自民党宇治市議員団【堀、中村、木本(注1)、西川(康)、渡辺】

公明=公明党宇治市議員団【関谷、鳥居、稲吉、西川(美)、西岡】  
 宇治=地域政党京都宇治党・蒼の会議員団【金ヶ崎、加勢】  
 無会派1=荻原 無会派2=西川(友) 無会派3=佐々木 無会派4=藤田

# 12月定例会 議決結果

## ◆すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (注2)	
議 案	令和6年度墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>(注3) 令和6年度公共下水道事業会計決算認定<決算特別>(注3) 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正<文教・福祉> 城南衛生管理組合の共同処理する事務及び城南衛生管理組合規約の変更<産業・人権環境> (仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に伴う建築工事の請負契約の一部変更<文教・福祉> 令和7年度一般会計補正予算(第6号) 令和7年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 職員の給与に関する条例の一部改正<総務> 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正<総務> 自治功労者の推薦承認(注4)
	令和6年度水道事業会計決算認定<決算特別>(注3) 令和7年度一般会計補正予算(第5号) 宇治矢落擁壁復旧工事による家屋等損傷に関する和解及び損害賠償の額の決定<総務> 市道路線の認定<建設・水道> 西小倉中学校校舎ほか解体工事の請負契約の締結<文教・福祉> 令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) 令和7年度公共下水道事業会計補正予算(第1号) 会計年度任用職員の給与その他の給付に関する条例の一部改正<総務> 令和7年度一般会計補正予算(第7号)

## ◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成、×印=反対

議 事 内 容 (注2)	議決結果	会 派 名					無会派1	無会派2	無会派3	無会派4
		未来	共産	自民	公明	宇治				
議 案	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○(注3)	×	○	○	○	○	○	○
	令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○(注3)	×	○	○	○	○	○	○
	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○(注3)	×	○	○	○	○	○	○
	令和6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○(注3)	×	○	○	○	○	○	○
	市営茶室条例の一部改正<産業・人権環境>	可決	○	×	○	○	○	○	○	○
	議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正<総務>	可決	○	×	○	○	×	○	○	(注5)
	特別職の職員で常勤のものゝ給与に関する条例の一部改正<総務>	可決	○	×	○	○	○	○	○	(注5)
請 願	誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願<文教・福祉>	不採択	×	○	×	×	×	×	○	×
	宇治市の学校給食無償化と豊かな給食を求める請願<文教・福祉>	不採択	×	○	×	×	×	×	○	×
意見書案	ケア労働者の持続的賃金改善を求める意見書	否決	×	○	×	×	○	×	○	×
	中小企業への直接支援と最低賃金の抜本的引き上げを求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	○	×
	〇TC類似薬の保険適用継続を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	○	×

(注1) 議長のため表決に加わっていません。  
 (注2) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。 議案の後ろの< >内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。  
 (注3) 未来1名欠席。  
 (注4) 木本議長、服部議員、今川議員、岡本議員、山崎議員、大河議員、中村議員、金ヶ崎議員、西川(友)議員は除斥。  
 (本人に関する議案については審議に参加できないため)  
 (注5) 退席し採決に加わっていません。  
 ※ 議事内容(抜粋)は4面に掲載しています。

## 提出された請願

今定例会に提出された請願を所管の常任委員会で審査し、本会議最終日に次のとおり決定しました。

### ◆誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願

(請願者) 菊井 春花

◎賛成少数で不採択

### ◆宇治市の学校給食無償化と豊かな給食を求める請願

(請願者) 宇治の学校給食無償化と豊かな給食を求める会

坂田 恵ほか2名

◎賛成少数で不採択

## 議事内容(抜粋)

### 可決 令和7年度 一般会計補正予算(第5号)

補正額は5億7611万4千円の増額で、予算総額は854億1234万円となる。

歳入では国庫支出金、府支出金及び繰越金を計上している。

#### <事業名とその概要>

##### ●市有財産保全費追加

市有地の擁壁復旧工事による家屋等損傷に係る損害賠償に要する経費追加

##### ●京都府知事選挙執行費・京都府知事選挙期日前投票事務等委託事業

<債務負担行為<sup>※1</sup>設定>

令和8年4月に執行される京都府知事選挙に要する経費

##### ●過年度国庫負担金等償還金

令和6年度の事業費確定に伴う国庫負担金等の超過交付分の償還に要する経費

##### ●障害者介護給付費追加

障害福祉サービス利用件数等の増加に伴う扶助費追加

##### ●クマ緊急対策事業費

市民が安心して暮らすために必要な備品等貸与に要する経費

##### ●給食センター整備事業

地盤改良や室内レイアウト、設備及び外構等の変更に伴う債務負担行為の変更

### 可決 令和7年度 一般会計補正予算(第6号)

補正額は3億6384万7千円の増額で、予算総額は857億7618万7千円となる。議員及び市長等の特別職の報酬・給料や期末手当、一般職の給料、期末勤勉手当、会計年度任用職員の期末勤勉手当の改定等に要する経費を計上している。

歳入では繰越金を計上している。

### 可決 令和7年度 一般会計補正予算(第7号)

補正額は13億9420万円の増額で、予算総額は871億7038万7千円となる。

歳入では国庫支出金を計上している。

#### <事業名とその概要>

##### ●物価高対応子育て応援手当費

<繰越明許費<sup>※2</sup>設定>

物価高の影響を強く受けている子育て世帯に対し、子ども達の健やかな成長を支援するため、物価高対応子育て応援手当費を支給する経費

##### ●水道料金等減免事業補助金追加

<繰越明許費設定>

市民及び事業者等の支援を目的とした水道料金の基本使用料及び量水器使用料の半額減免に要する経費を追加計上

##### ●うじの生活おうえんデジタルクーポン事業費

<繰越明許費設定>

物価高騰の影響を受ける消費者等への支援として、デジタルクーポンの発行に要する経費

##### ●商店街等販売促進支援事業費

<繰越明許費設定>

商店街等が実施する販売促進事業等への支援に要する経費

##### ●学校給食費高騰対策事業費追加

主食(米)等の食材価格高騰に伴う補助金追加に要する経費

※1 債務負担行為：翌年度以降に債務を負担(支出)することが必要な事業について、あらかじめ予算として定めておくもの。

※2 繰越明許費：当該年度内に支出が終わらない見込みがある場合、予算を翌年度に繰り越すもの。



# 令和6年度 決算審査報告

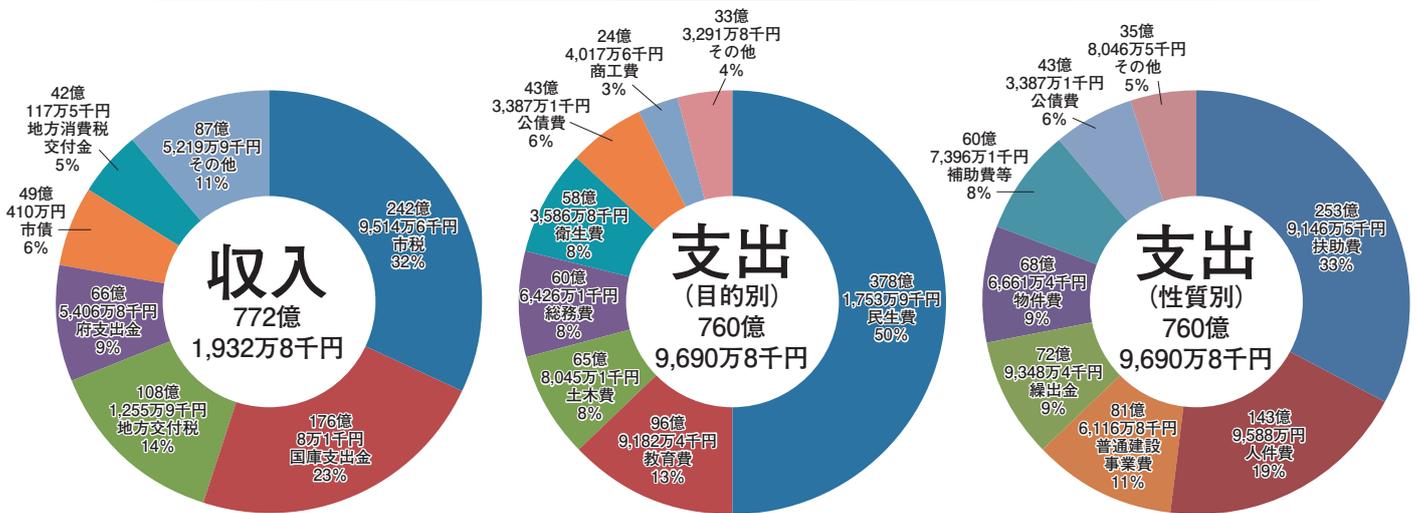
令和6年度宇治市一般会計歳入歳出決算などの各会計決算7議案が、令和7年9月定例会に提出されました。7議案は、決算特別委員会で審査された後、12月定例会で全てが認定されました。

(3面に議決結果を掲載)



<実地調査：(仮称)西小倉地域小中一貫校>

## 普通会計の内訳



※支出のグラフは、目的別、性質別の2種類を掲載しています。

市債：市が資金調達のために、一会計年度を超えて行う借入れ

民生費：児童、高齢者、障害者などの社会福祉や生活保護などに要する経費

総務費：人事、企画、財政、戸籍、統計、税、選挙など、一般的な管理事務に要する経費

公債費：市債の返済に要する経費で、市債の返済金とその利子

扶助費：社会保障制度の一環として、各種法令や市独自の制度に基づいて行う福祉サービスの提供に必要な経費

## 決算特別委員会における討論

各会派及び無会派委員の総括質疑の後、共産党宇治市議会議員団が反対討論、うじ未来が賛成討論を行いました。

**反対** 税金の使い方を変えて暮らしを守る市政であるべき  
共産党議員団 徳永 未来

第1に物価高の下、国民健康保険料の大幅な引上げをはじめ後期高齢者医療費や介護保険料も引き上げられた。税金の使い方を変えて暮らしを守る市政にしていくべき。第2に18歳までの子どもの医療費無償化や給食費の無償化が実現せず、遅れている子育て支援、教育を充実させるものとなっていない。第3に予約制乗合タクシーの全域での事業化や改善、地域の消防力の強化が必要であるなど、高齢者から子どもまでが安心して暮らせるまちづくりになっていない。以上のことから反対する。

**賛成** さまざまな事業へのスピード感や実行力のある取組を評価する  
うじ未来 今川 美也

誰もが住みやすい地域共生社会の構築に向けたさまざまな事業をはじめ物価上昇に対する国の定額減税や給付金施策への対応、市独自の水道料金等の減免、学校給食費の値上げ抑制の取組、またニッポンミュージアムの開館や萬福寺法堂等の国宝指定、大河ドラマ「光る君へ」等を契機とした宇治の魅力発信、小中一貫校や給食センターの施設整備等、この間のスピード感や実行力のある取組を評価し、市長を先頭に今後の計画的な施策展開、行財政改革など全庁を挙げて取り組むことを期待し賛成する。

## 総務

### 12月15日 地域コミュニティに関する取組状況を報告

#### 市の説明

平成31年3月に地域コミュニティ再編計画を策定し、第6次総合計画にも「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」をまちづくりの土台に位置付け、地域住民や地域活動団体等と行政が主体となり連携・協働し、まち全体で新しいまちづくりを進めている。地域課題の解決等に向け、先進的かつ自主的な取組を新たに実施する町内会等への補助金の支援や、地域による主体的な集会所運営のため、公立集会所の無償譲渡や民間集会所新設支援等に取り組んだ。今後は地域活動団体の取組相談や伴走支援、集会所の利用促進、集会所管理者の負担軽減、集会所再編の検討などを推進するための行動計画を今年度中に策定予定である。

#### 委員からの質疑

問地域が抱える課題はそれぞれの地域で異なるが、庁内で連携してさまざまな相談に乗ってもらえるのか。

答地域に職員が入り困り事を聞き取り、その解決に向け庁内で連携し、一歩ずつ改善に取り組んでいく。

問集会所の地域への無償譲渡は譲渡後に不安があるため前向きな意見が出ないが、不安解消に向けた取組は。

答無償譲渡を受けた地域の前例や補助金制度を示しながらメリット等を地域の中で説明している。

問まちの縁がわ事業は大きく評価するが今後の課題は。

答地域活動に取り組むコーディネーターの発掘が難しい。また、公立集会所を利用したことのない層への継続した広報や取組の周知が必要と考えている。

問地域活性化のため集会所を多く利用いただくのが目標でありながら、集会所の床面積20%削減目標があるのはおかしい。どういう整理をしているのか。

答大きくは公共施設アセットマネジメントの視点もあるが、人口減少により、今後の集会所の維持管理の問題もある中で40年の長期的なスパンで全体としては削減していこうというのが基本的な考え方である。

問町内会等の加入率がかなり低下している状況の中、今後の行動計画を含めた市としての考え方は。

答町内会等とそれ以外の地域主体の活動をつなげた活性化や集会所の積極的な利用促進、利用につながらないところは再編も検討するなどに取り組んでいく。

## 産業・人権環境

### 11月12日 宇治市男女共同参画計画「第6次UJIあさぎりプラン」初案を報告

#### 市の説明

今回取りまとめた「第6次UJIあさぎりプラン」初案では重点課題として(1)固定的な性別イメージの解消、(2)女性の活躍推進とエンパワーメント支援、(3)家事・育児・介護等の場における男女共同参画のさらなる推進、(4)あらゆる暴力の根絶と相談支援体制の強化、(5)地域防災における男女共同参画の推進に取り組むとし、(4)のみ前回から変更している。

初案におけるパブリックコメントの結果及びプランの最終案は令和8年1月開催の宇治市男女共同参画審議会にて審議され、2月に同審議会からの答申を受け、本委員会に報告する予定としている。

#### 委員からの質疑

問計画課題に幼少期からの多様な選択を可能にする教育の推進とあるが、教育の場での取組は。

答現在、男女共同参画ハンドブックを全市内公立中学

3年生に配付しており、機会を捉え啓発に取り組む。

問今回の調査では60代以上の意見が半数以上占めており、若い世代・子育て世帯の意見の反映が少ないが、分析に偏りはなかったのか。

答若年層の回答が少ない課題を補完するために京都文教大学等の協力の下、ワークショップを開催し、若年層の意見も反映した。

問男女共同参画推進法ができて四半世紀が経ち、社会的にも意識が変わったが、男性も宇治市が作成するプランに参画できるような進め方が必要ではないか。

答発展途上ではあるが、男性も一緒に男女共同参画について考えていくのが基本と捉えている。

問市の男女共同参画という大きな計画のパブリックコメントが前は18名だった。回答数を増やすことを真剣に取り組むべきでは。

答市民の皆さんの貴重な意見を聞けるのが主にパブリックコメントというのが現状である。LINEやインスタグラムなどを活用して市民や若い方に刺さるような広報を考えていきたい。

## 建設・水道

### 12月18日 宇治市建築物耐震改修促進計画の改定（素案）を報告

#### 市の説明

宇治市建築物耐震改修促進計画について、国の基本方針及び今年度改定中の京都府建築物耐震改修促進計画に基づき、住宅、要緊急安全確認大規模建築物について耐震化の目標設定を行い、令和17年度末までを計画期間とした改定素案を作成した。

主な改定内容は、耐震化の現状と目標を整理し、これまでの取組を踏まえ、耐震化の促進を図るための支援の検討を進めていくこととしている。

今後の予定は、令和8年1月5日から2月5日までパブリックコメントを実施した後、それらを踏まえた改定案を作成して本常任委員会に報告を行い、令和8年3月には計画を改定していく。

#### 委員からの質疑

**問**現在、建築物の耐震診断・改修の助成事業は旧耐震基準のものしかないが、今後これを2000年基準のものまで拡充する考えはあるのか。

**答**まずは昭和56年5月31日以前の旧耐震基準の建物について耐震化を図りたい。

**問**多数の者が利用する要緊急安全確認大規模建築物7棟のうち、耐震性が不十分な3棟の現状は。

**答**1棟が耐震改修工事中、もう1棟は2029年から2032年の間に危険物を建物の外に移転する改修工事を予定している。残る1棟の建物も同時期での工事を予定しているが、現在時期を検討・協議している。

**問**今年度予算を拡充して補助率を上げたが、現時点での耐震改修の実績は。

**答**耐震診断42件、本格改修25件、簡易改修13件となっている。

**問**地震の際、液状化による住宅への影響がよく言われるが、この計画ではどう反映しているのか。

**答**耐震改修助成制度の中で地盤、基礎についてしっかり見ているが、本計画には液状化の記載はしていない。

**問**防災、安全を考えると解体、除却支援をしていかなければいけない時期が来るのではないかと思うが見解は。

**答**府と連携しながら、除却の補助等についても検討をしていかなければならないと考えている。

## 文教・福祉

### 11月11日 「宇治市これからの高齢者の暮らしに関する調査」を報告

#### 市の説明

令和8年度に予定している「高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に当たり、必要な基礎資料として、40歳以上の市民の日常生活状況、保健・福祉サービスや介護サービスなどに対する利用状況・意向等を把握するため、アンケート調査を実施する。

要介護認定者、要支援認定者等、認定を受けていない第1号被保険者や第2号被保険者などに調査種別を分けて、それぞれ全対象者から無作為抽出し、計約9700人に対して行う。

調査内容は自身の心身、日常生活の状況、社会参加、健康、認知症、介護保険や今後の暮らし方について聞くこととしている。

#### 委員からの質疑

**問**アンケートの設問にある地域福祉センターの浴室に

ついて、一般開放における浴室の利用状況は。

**答**木幡と開地域福祉センターで近年は1日に10人から15人程度である。

**問**地域福祉センターの浴室に関しては、決算特別委員会で廃止も含めて検討すると言っているが、ある意味で答えが出ているのになぜアンケートを取るのか。

**答**結論ありきではなく、アンケート調査を経て、市として年度内に結論を出し、最終決定をしていく。

**問**地域福祉センターの浴室は給湯器の改修が必要との話であるが、改修には幾らかかるのか。

**答**費用負担の検討ができていない状況ではない。

**問**宇治市はDXの計画を立てデータ分析もされている中で、なぜ今回のアンケートは紙媒体だけなのか。

**答**オンライン回答の検討はしたが、この調査の対象者に高齢者が多いことから紙媒体とした。

**問**宇治市ではこれまでデジタルでのアンケートはなかったか。

**答**健康づくり・食育推進計画策定の前段でのアンケートはオンライン回答を実施した。

# 一般質問

## 無党派

にし かわ とも やす  
**西川 友康** 議員



### 4月からプラスチック資源の収集が開始 分別方法の啓発は

**答弁** 啓発シールの貼付や市ホームページ、SNS等を活用した啓発を継続していく

**問** 令和8年4月からごみの分別方法が変わり、これまでプラマークと燃えないごみに混在していた100%プラスチック製品をプラスチック資源として収集が開始されるが、その資源はどのように処分されるのか。

**答【人権環境部長】** プラスチック資源の収集はこれまで実施の週1回のプラマークの日としており、プラマークと同様、城南衛生管理組合において選別後に圧縮梱包し、指定工場で細かく破碎され、再商品化の材料となる。

**問** 現状でも、プラ以外のごみが混在しているためにリサイクルセンターでの選別作業に大変苦勞されている。

今後プラスチック資源の収集量が増加すると思われるが、分別方法の啓発はどのように考えているか。

**答【同部長】** これまで同様、正しく分別されていないごみは収集せずに啓発シール貼付による周知や、排出者が特定できれば直接啓発する。機会を捉えて市ホームページやSNSなどを活用した啓発を継続していく。

### 中学校給食の開始に当たり保護者への周知はどのように、いつ頃行うのか

**答弁** 給食センターだよりや各中学校の新入生保護者説明会を実施してきた

**問** 令和8年4月から開始される中学校給食について、給食費はどのくらいになるのか、その他手続き等さまざまな給食関係に関する保護者への周知はどのように、いつ頃行うのか。

**答【教育部長】** 今年度に小学校6年生及び中学生の家庭に向け給食センターだよりを配付するとともに、各中学校の新入生保護者説明会で中学校給食の説明を実施してきた。具体的な保護者負担額は来年度の食材調達価格の見直しなどを考慮しながら現在検討を重ねており、決定後は速やかに学校を通じてお知らせする。

## 公明党議員団

にし かわ み よ こ  
**西川 美代子** 議員



### 障害のある方の経済的自立のための就労支援に対する市の考えは

**答弁** 自身の意向や適性に沿った多様な形で働き続けられる環境づくりを進める

**問** さまざまな障害の特性のある方が経済的自立を果たして地域で生活していくためには、就労に向けた訓練や職場体験などの具体的支援も含め、市の役割は非常に大きい。就労支援に対する市の考えは。

**答【市長】** 障害のある方それぞれの働きたいという思いを支える就労支援の取組は非常に重要で、就労継続支援などの障害福祉サービスの提供を通じて、就労に必要な知識・能力の向上に資する訓練や職場体験、求職活動への支援など多岐にわたる就労支援を行うとともに障害者就労施設等からの優先調達の取組や製品の販路拡大にも努めている。また令和6年11月には市

内2カ所目の相談支援センターk o k u aを開設した。今後も一人でも多くの方が自身の意向や適性に沿った多様な形で働き続けられる環境づくりを進めていく。

### カラスによるごみ散乱被害に対してイラストを使った対策を試験的に取り組んでは

**答弁** カラスの特性を踏まえた対策に検証・研究が必要

**問** ごみステーションにおけるカラスによるごみ散乱に対して市民への周知や広報、補助制度はあるのか。

**答【人権環境部長】** 散乱被害対策としてごみ排出の際の工夫を周知し、補助制度ではこれまでにごみネット一斉配付や希望する町内会等への配付を行ってきた。

**問** 宮崎県日向市や近隣の八幡市ではカラスに視覚的に違和感を与え警戒させるイラストを使った対策を試験的に実施されている。日向市ではおよそ90%のごみステーションでカラス被害が軽減できたと聞いている。市でも取り組んでみてはどうか。

**答【同部長】** カラスよけの表示板は効果が見られた場所や見られなかった場所もあると聞いておりカラスの特性を踏まえた対策に検証・研究が必要と考えている。

## 共産党議員団

たに がみ はる ひこ  
**谷上 晴彦** 議員



### 市の国保料は府内15市でトップ 他市と比較し負担が重いのはなぜか

**答弁** 府が示す標準保険料率を基本に保険料を設定している

**問** 世帯収入が400万円、夫と専業主婦、小学生2人の4人家族のモデルケースで全国の自治体の国民健康保険料を調査した結果によると、今年度、本市は53.3万円です。府内15市ではトップです。隣接の城陽市の45.7万円、京都市の43.8万円と比較して、本市の負担が重いのはなぜか。

**答**【健康長寿部長】 持続可能な制度運営のため、府が示す標準保険料率を基本に保険料を設定している。

**問** 府が示す標準保険料率は、宇治市も城陽市も京都市もほぼ同じで、市の判断、努力次第で引き下げできることが事例で示されている。市の努力を求めます。

## 共産党議員団

やま ざき たすく  
**山崎 匡** 議員



### 就学支援制度の基準額を見直し、引き上げを

**答弁** 平成25年度の基準に据え置いており、決して低い認定基準ではない

**問** 物価高騰の中、教育費の保護者負担軽減を図る必要がある。就学援助の基準見直しが必要だと考えるが、なぜ引き上げないのか。

**答**【教育部長】 就学援助の準要保護基準は生活保護基準のおおむね1.5倍を需要額とし認定している。生活保護基準が平成25年以降減額となる中、平成25年度の基準に据え置いており、決して低い認定基準ではない。

**問** 一つの実態として、独り親、小学生1人の世帯の生活保護の最低生活費はどうなっているのか。

**答**【福祉子ども部長】 30代の保護者1人と小学生1

### 奨学金返還支援制度の募集枠を拡大すべき

**答弁** 現行制度の枠組みの中で効果的な運用に努めている

**問** 奨学金返済の負担が結婚など将来設計に影響を及ぼしている。奨学金返済に苦しむ人を救済するために、奨学金返還支援制度の募集枠を拡大すべきではないか。

**答**【福祉子ども部長】 本年度と昨年度では、当初の段階で定員を上回る申請があったが、現行の枠組みの中で効果的な運用に努める。在り方については検討する。

**問** 期限に定めのある雇用契約をしている人の申請要件を週30時間以上としているのはなぜか。

**答**【同部長】 社会保険の資格取得の基準が常勤職員の4分の3以上の労働時間としていることを参考にして、週30時間以上として設定している。

**問** 国は社会保険の加入要件を法改正し、週20時間以上の人全員の義務的加入を順次進めていることから要件の基準を見直していくべきではないか。

**答**【同部長】 制度の在り方は引き続き検討するが、現時点においては現行制度で取り組んでいきたい。

人の世帯では、月額おおむね21万円となっている。

**問** 就学援助資料で同世帯の場合、援助の基準額となる収入目安額は年245万円程度とあり、月額21万円（月額252万円）では生活保護の基準額が上回るが。

**答**【教育部長】 認定の目安額として収入基準を示しているが、生活保護基準額に含まれている住宅扶助を含まず試算するため、認定基準額が大きく異なってくる。

**問** 例示した世帯の住宅扶助額の上限は年額57万6000円で、目安額と足せば年額300万円を超えるが、目安額が245万円のため対象外だと認識し申請しない状況を生む。目安額の示し方を見直すべきだ。

**答**【同部長】 あくまでも目安表記であり、相談しやすい環境づくり等が必要で、すぐに修正する考えはない。

**問** 生活保護世帯に勤労収入がある場合、勤労に伴う必要経費が控除されるが、就学援助ではどうか。

**答**【同部長】 給与収入は控除をせずに算定している。

**問** 生活保護基準の1.5倍になっていない。見直しを。



# 一般質問

## 共産党議員団

とく なが み き  
**徳永 未来** 議員



### 物価高の中、重点支援地方交付金を活用して水道料金の減免を

**答弁** 国からのさまざまな推奨事業を基に取り組む内容等を鋭意検討している

**問**物価高が続く中、国は2兆円規模の重点支援地方交付金の交付を示した。速やかな補正予算編成が求められるが、水道料金減免を再度行う検討はしないのか。

**答【政策企画部長】** 国から生活者支援や事業者支援としてさまざまな推奨事業が示されており、本市が取り組む内容等について、現在鋭意検討している。

**問**水道料金の減免をぜひ早急に進めてほしい。また、宇治市水道事業経営審議会で、向こう5年間で44億円の収支不足になると示された。水道収益だけで会計を行っていくことが難しくなっているのでは。

**答【上下水道部長】** 公営企業会計の独立採算の原則の

下、必要な財源を適切に確保し、将来にわたって持続可能な事業運営に取り組んでいく。

**問**物価高で大変な折に市民に負担を押し付けることはあってはならない。水道事業会計に一般会計から繰り入れ、実質的に料金を下げるべきだ。

### 「ほないこCar」を榎島地域にも走らせられないか

**答弁** まずは実証運行の結果や効果などをしっかり検証する

**問**榎島地域ではバス路線がないなど、移動に困っている声を聞く。また、紫ヶ丘の病院バスを利用した買い物支援では、停留所が遠く利用できないとの声もある。今年度実施しているおでかけ支援実証運行の「ほないこCar」を紫ヶ丘も含めた榎島地域に走らせることはできないのか。

**答【都市整備部長】** まずは現在対象地域で実施している実証運行の結果や効果などをしっかり検証する。

**問**現在実施中の実証運行を、より利便性の高い内容で本格実施へ切れ目なく移行するとともに、一日も早く全市的に展開してほしい。

## 共産党議員団

さか もと ゆう こ  
**坂本 優子** 議員



### 公民館に社会教育主事を配置すべき

**答弁** 公民館では生涯学習課に配置の社会教育主事と連携して活動を支援している

**問**市では「公民館は、地域住民が気軽に集まり、地域や暮らしをよくしていく活動を活発にしていく社会教育のための施設」としており、そのためにも公民館活動を支援する社会教育主事を各館に配置すべきだ。

**答【教育部長】** 各公民館では、生涯学習課に配置の社会教育主事と連携して、市民の自発的な学習活動や学習を通じた地域づくりの活動を支援している。

**問**岡山の公民館活動では、社会教育主事が公民館の代表者と年間計画を一緒につくり、特色ある活動を支援している事例がある。このように本市も社会教育主事が各公民館の活動を輝かせる必要があるのでは。

**答【同部長】** 今のやり方が本市にとって望ましいスタイルだが臨機応変に現場の職員と連携を図りたい。

### 菟道ふれあいセンターはいつまで使えるのか

**答弁** 具体的なスケジュールが明らかになった段階で説明する

**問**菟道ふれあいセンター跡に中宇治地域に特化した市民協働推進拠点を置くが今後は市内全域に広げるのか。

**答【総務・市民協働部長】** 今後のモデル的な施設としてその機能などを評価し他の地域への展開につなげる。

**問**地域別住民登録数の対前年増減数では世帯数、人数とも宇治地域が突出して大きく減り、高齢化率も高い。この課題を市民協働推進拠点はどうか解決していくのか。

**答【同部長】** まちのリビングなどの取組により多様な主体の市民が地域と関わりを持ち新たな取組につながっており、拠点の整備はその効果を一層促進できる。

**問**菟道ふれあいセンターはいつまで使えるのか、などの不安の声を聞く。利用者への説明が必要では。

**答【同部長】** 今後、具体的なスケジュールなどが明らかになった段階で説明し、丁寧な対応に努める。

## うじ未来

かど や よう へい  
**角谷 陽平** 議員



### 子育てにおけるジェンダーギャップの解消に向け、どのような方向性を検討しているか

**答弁** 職業生活と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組む

**問**子育てにおけるジェンダーギャップの解消は人口減少対策、地域企業の人材確保、生産性向上、さらには地方経済の競争力維持という観点からも、自治体が積極的に取り組むべき死活的な政策課題ではないかと考えるが、市は現状をどのように認識し、その解消をどの程度重要な政策課題として位置付けているのか。また今後どのような方向性を検討しているのか。

**答【市長】**市では子育て期における30代女性の労働力率がこの20年間で増加し続けているものの、正規雇用の割合は女性は約4割と、5年間ほとんど変化が見られない。一方で男性の育児休業取得率は4割を超

え、全国的にも上昇している。こうした状況は子育てや家事は女性の仕事という性別役割分担意識が若年層に一定改善が見られるものの、今なお存在することが要因である。ジェンダーギャップの解消に向けて若い世代の就労環境の充実強化等が重要であり、第6次UJ1あさざりプラン等の計画に位置付け、市民が職業生活と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組む。

### 市斎場の機能強化や整備の在り方を府・他市と協議、情報共有を進める考えは

**答弁** 本市の需要を見定めながら、近隣市町の需要等も確認する等の連携を図る中で進める

**問**多死社会において火葬需要の増加は本市のみならず府南部地域全体の共通課題である。現状、市斎場が広域的役割を担っており、市単独での対応には限界が生じることが危惧される。市斎場の機能強化や将来的な整備の在り方は広域的なインフラとしての検討が必要である。府・他市との協議、情報共有を進める考えは。

**答【人権環境部長】**市斎場の在り方や運用方法の検討に当たっては、まずは本市の需要を見定めながら、近隣市町の需要等も確認する等の連携を図る中で進める。

## 無会派

ふじ た とも はる  
**藤田 智晴** 議員



### 小中9年間でどの段階からAI活用を組み込むのか

**答弁** 小中9年間で情報活用能力の系統的・継続的な育成に取り組んでいる

**問**本市が真に選ばれる教育を目指すのであれば、これからの時代を見据え、AIを正しく使いこなし、そこから新たな価値を創造できるような教育へと転換していかなければならない。小中9年間の中でどの段階からAI活用を組み込むのか。また、それを指導する教員のスキル向上をどう図るのか、本市の考えは。

**答【教育部長】**児童・生徒が生成AIを学びに生かしていく視点を持ち、使いこなす力を育てるため、活用リスクや懸念に十分対策を講じ、児童・生徒の発達段階を踏まえつつ、小中9年間で情報モラルを含む情報活用能力の系統的・継続的な育成に取り組んでいる。

また、教職員自身の生成AIの利活用を含む情報活用能力向上に向けて研修の充実を図っている。

### 寝屋川市のいじめ対策の取組について、本市の所見は

**答弁** 市長部局の直接対応は子どもたちへの影響等の観点から慎重な対応が必要である

**問**寝屋川市では、いじめ対策として、市役所の危機管理部の中に弁護士や正職員で構成されるいじめ監察課を設置し、全児童・生徒にチラシを配付、切手を貼らずポストに投函し通報できる仕組みで、子どもたちからの相談を待つのではなく、攻めの姿勢で情報収集している。この取組について、本市の所見は。

**答【人権環境部長】**学校現場でのいじめ等に、市長部局が直接調査や観察を行うことは、子どもたちへの影響や教育の独立性確保の観点から慎重な対応が必要である。まずは学校で事実確認、児童・生徒への支援・指導、教育委員会や関係機関への報告が適切に行われるべきと考えている。そうした中、市、市教委、関係機関等で構成する、宇治市いじめ防止対策連絡会議を設置し、各機関が連携を図り対策に取り組んでいる。

# 一般質問

## 京都宇治党・蒼の会議員団

かせ きょうこ  
**加勢 京子** 議員



### 川東地域への病児保育施設設置の考えは

**答弁** 関係機関と協議しながら、新たな施設の確保に向けて努力する

**問** 現在、本市における病児保育施設は2カ所、いずれも市の西側に位置し、宇治川東側の川東地域には施設がなく地域的偏在が生じている。病院が遠い場合、移動距離や所要時間は、病気の子どもや保護者にとって精神的・体力的に大きな負担となる。この負担軽減のため川東地域への施設設置の考えは。

**答【福祉子ども部長】** 現在、市民からも設置を希望する声があり、課題であると認識している。施設を新設するには専用スペースの確保や保育士・看護師などの配置が必要となることから、これまで設置には至っていない。引き続き関係機関と協議しながら、川東地域

## 自民党議員団

わた なべ こう じ  
**渡辺 浩司** 議員



### 市民生活を守る持続可能な都市経営を

**答弁** 近鉄小倉駅周辺拠点整備など、新しい宇治の魅力の創造に取り組んでいく

**問** 空き家や空き地が各地に発生することで都市の密度が低下するいわゆる都市のスポンジ化は、本市においても大きな課題だ。著しく人口が減少していく時代において、将来にわたり市民生活を守るためには、選択と集中など持続可能な都市経営をしていくべきだと考えるが、これからのまちづくりに対する市の考えは。

**答【市長】** 引き続き適正な居住や都市機能などの土地利用の維持・誘導を図り、近鉄小倉駅周辺拠点整備や国道24号沿道安田町地区産業立地、おでかけ支援実証運行など新しい宇治の魅力の創造に取り組み、宇治に愛着を持って住み続けたい、働きたい、何度も訪れ

における新たな施設の確保に向けて努力していく。

### おでかけ支援実証運行 現在の状況は

**答弁** 実証運行を積み重ね、市民・事業者・行政による持続可能な制度の構築を目指す

**問** 10月14日から公共交通を補完する移動手段として大久保町平盛・旦棕地域、木幡南山地域で、おでかけ支援実証運行がスタートした。市の広報活動及び登録者数等、現在の状況は。

**答【都市整備部長】** 現対象の全世帯に説明会の案内を配布し、各地域4回ずつ実施、個別の問合せにも対応して周知に努めた。大久保町平盛・旦棕地域では登録者250名、運行回数66回、乗車人数105人、木幡南山地域では登録者146名、運行回数76回、乗車人数110人で、両地域とも75歳以上の利用が多く、運行回数の約半分が2人以上の乗車であった。利用者からは「スーパーや病院に行きやすくなった」「外出する機会が増えた」「何度も利用したい」等の声もあり、引き続き実証運行を積み重ね、市民・事業者・行政の3者による持続可能な制度の構築を目指していく。

たいと思っていただけるようさらに取り組んでいく。

### 上下水道事業の多額の収支不足への対応は

**答弁** 事務事業の見直し、民間活力を活用した効率的な取組などあらゆる手法を検討する

**問** 全国各地で水道管や下水道管の陥没・破損による漏水など大きな事故が発生している。上下水道事業の施設整備は長期的な計画と着実な推進が必要だが、水道事業経営審議会では次の5年間で44億円の収支が不足するとされた。施設の安定稼働のため、老朽化・耐震化の状況を踏まえた今後の展望・取組と、水道事業の多額の収支不足対応について市の考えは。

**答【市長】** 人口減少などの水需要の減少や施設の老朽化対応、物価高騰など上下水道事業を取り巻く環境は大変厳しい。さらなる事務事業の見直し、民間活力を活用した効率的な取組など、収入・支出の両面からあらゆる手法を検討し、収支改善の取組を進める必要がある。年内に予定される審議会の答申内容を踏まえ、施設の更新・耐震化と健全な事業運営を両立し、将来にわたり安全な水道水の持続的な供給につなげていく。

## 無党派

さ さ き ま ゆ み  
佐々木 真由美 議員



### 子どもに読書習慣をつける取組は

**答弁** 親子での読み聞かせを啓発・促進するとともに、本の面白さに出会う取組の充実を図る

**問**宇治市子どもの読書活動推進計画の中間見直しに係るアンケート調査では、本を読まない、または読書が嫌いという児童・生徒が大きく増えている状況となっている。読書習慣をつける取組がなお一層必要であるが、今後どのような取組を考えているのか。

**答****【教育部長】** アンケート結果では、幼少期に読み聞かせをしてもらった経験が読書好きにつながる結果となっており、親子での読み聞かせの大切さを啓発・促進する取組を重点的に進めていきたい。また、本を紹介された時やたくさん本を手にとったり選んだりした時に本を面白いと感じる結果もあることから、子ど

もが本を手取るきっかけづくりや本の面白さに出会う取組などの充実を図っていく。

### 起業に初めてチャレンジしようとする場合の支援は

**答弁** 起業のフェーズやニーズに応じた支援を行っている

**問**起業にはビジネスプランの作成や資金調達等多くの障害、ハードルがある。創業支援補助金の応募者の8割を女性が占め、女性の起業志向も高まっているが、女性に限らず若者やシニア等で初めて起業にチャレンジしようとする場合どのような支援を行っているのか。

**答****【産業観光部長】** 起業に興味がある方には基礎や考え方が学べるセミナーを開催、具体的に起業を目指す方には資金調達や販路開拓、財務会計など経営に必要なノウハウを身につける連続講座を開催するなど、起業のフェーズやニーズに応じた支援を行っている。今年度から子育て等で外出しにくい方が参加しやすいよう、起業に必要な知識が学べるオンライン創業支援ワークショップを開催し、引き続きより多くの方が起業にチャレンジできるよう、各種支援に取り組んでいく。

## 共産党議員団

おお かわ なお ゆき  
大河 直幸 議員



### 小学校給食を完全無償化する決意を持つべき

**答弁** 市独自で無償化する考えはないが、国で議論が行われており、その動きに留意していく

**問**国は小学校給食費無償化に向け各自治体に補助を行う案を検討しているが、本市での判断はどうするのか。

**答****【教育部長】** 国の制度設計等が協議中で、今のところ何も示されておらず、引き続き動向を注視していく。

**問**中学校給食も本市の判断で無償化して、小学校、中学校とも無償化を同時スタートするべきでは。

**答****【同部長】** 国におけるいわゆる学校給食費無償化は、小学校は令和8年度に実現した上で、中学校への拡大も速やかに実現するなどのさまざまな議論が行われているところであり、その動向に留意していく。

**問**国の制度にかかわらず保護者負担を求めず、本市の

小学校給食は完全無償化するという決意を市教委が持って市長とも協議していくことが必要ではないか。

**答****【教育長】** 現時点で市独自で給食費を無償化する考えは持ち合わせていないが、国で議論が行われているところであり、その動きに留意していく。

### 子どもの発達と不登校を系統的に支援する相談支援センターを整備するべきでは

**答弁** 現時点でセンターの設置は検討していないが、子ども、保護者への支援の充実に努めていく

**問**府南部の行政機関で唯一学齢期の子どもの発達相談が行える京都府立こども発達支援センターが、申し込みから数カ月待たないといけない状況なのはご存じか。

**答****【福祉こども部長】** センターに併設されている診療所は、受診希望者が多く初診までに時間を要しており、府に対し初診待機時間の短縮を図るよう要望してきた。

**問**本市でも子どもの発達と不登校に系統的な支援ができる相談支援センターを整備するべきでは。

**答****【同部長】** 現時点で市独自でセンターを設置することは検討していないが、関係機関と連携し、子ども、保護者への支援の充実に努めていく。

# 一般質問

## うじ未来

さなだ あつし  
**真田 敦史** 議員



### 来年度予算編成のポイントは

**答弁** 一人ひとりが輝き伝統と新たな息吹を紡ぐまちの実現に向けて予算編成を行う

**問** 来年度の予算編成について、現在第6次総合計画第2期中期計画の見直し策定中だが、今後4年間を見ていく上で先を見通した予算としてどう展開していくかが大切だ。来年度予算編成のポイントは。

**答【市長】** 現在、第2期中期計画策定に向けて進むべき方向性を改めて確認する中で、発展させる施策、見直すべき施策の策定作業を進めている。令和8年度予算には、総合経済対策、物価高騰対策など社会経済状況を踏まえながら盛り込むべきと考えている。その中で、まずは市民の安心・安全の確保、誰もが活躍できる地域共生社会、にぎわいや活力あふれる観光や産業、

また、未来を開く都市基盤づくりをしっかりと進める施策に取り組んでいき、計画の中でいただいた意見を踏まえながら、一人ひとりが輝き伝統と新たな息吹を紡ぐまちの実現に向けて予算編成を行う。

### 市民協働推進拠点 今後の取組は

**答弁** 年度内には公民連携の事業手法を確定し、進め方の方針を定める

**問** 中宇治地域市民協働推進拠点は、新たな地域の担い手と、今まで頑張ってきた方々が融合して地域コミュニティをつくるなど、いろいろな機能を併せ持った市民協働推進拠点として大変期待している。この取組を今後着実に進めていくための市の考えは。

**答【市長】** 現在、事業主体なども含めた公民連携事業として成立するかどうか、公民連携による事業スキームを検討している。年度内には中宇治地域の特色に応じた公民連携の事業手法を確定し、進め方の方針を定める。そのためにも市民に広く取組内容を周知し、連携拠点の機運醸成を図りながら、地域の特色に応じた活力ある地域づくりにつながるよう取組を進めていく。

## 自民党議員団

にし かわ やす し  
**西川 康史** 議員



### 市全体でポイ捨てをなくすための対策は

**答弁** 条例で公共の場へのポイ捨てを禁止している。引き続き市内全域の環境美化促進に努める

**問** 観光地や通学路、公園ではプラスチック製のスプーン等のポイ捨てが見受けられる。宇治市観光地における路上喫煙等の禁止に関する指針が令和2年に策定され、観光地でのたばこのポイ捨て対策はされたが、観光地に限らず市全体でたばこを含めた全てのポイ捨てをなくすための対策はできないのか。

**答【人権環境部長】** 平成11年10月に宇治市環境美化推進条例を制定し、たばこの吸い殻や空き缶、容器包装などをみだりに公共の場所に捨てることを禁止している。条例では、人の往来の多い5カ所を重点地域に指定し、ポイ捨て行為に対して罰則規定を設けるな

どの対策を定め、重点地域以外では看板の掲示などによる啓発を行っている。引き続き市民ボランティアとの協働による環境美化活動や、子どもたちへの環境教育などに加え、全てのポイ捨て行為の防止策を講じ、市内全域の環境美化促進に努めていく。

### 町内会等を支えていくための取組は

**答弁** 地域主体の取組のサポートに向け、補助金制度の見直しなど検討を進めていく

**問** 町内会・自治会は、地域の住みよいまちづくりの中心的な役割を担っているが、加入率が減少し、このままでは地域での助け合いである共助が成り立たなくなるのではと危惧している。市は町内会・自治会を支えていくためにどのような取組を行っているのか。

**答【総務・市民協働部長】** 地域コミュニティ活性化事業補助金、支援策をまとめた地域活動サポートメニューや先進的な取組内容を町内会・自治会の手引に掲載するなどの取組を行っている。今後も町内会長等へのアンケート結果などを踏まえ、地域主体の取組のサポートに向け補助金制度の見直しなど検討を進めていく。

## 共産党議員団

みやもと しげ お  
**宮本 繁夫** 議員



### 物価高騰対策として国が推奨するおこめ券の経費率が高いがどれだけかかるのか

**答弁** 500円で購入したおこめ券の利用額は440円で郵送費が約6000万円である

**問**国から宇治市に物価高騰対策として重点支援地方交付金が約12億円交付される見込みだが、国の推奨するおこめ券は経費率が非常に高い。9万世帯への郵送費等はどの程度必要か。また、以前コロナ禍でプレミアム商品券を配付した時の事業費と事務費は。

**答**【産業観光部長】18万市民に3000円のおこめ券を配付すると調達に約5.4億円かかる。500円で購入したおこめ券の利用額は440円で、利用総額は約4.7億円となる。郵送費は約6000万円、コールセンターの委託費などは他市の事例を踏まえると1億円程度かかる。令和5年度実施のデジタルクー

ポン事業では、プレミアム率30%の共通券7万冊とプレミアム率40%の個店券5万冊を発行し、総事業費の約3億円のうち事務費は約9500万円だった。

**問**かなりの経費率になる。今年度、水道料金の半額減免を実施しているが、その時の事業総額と費用は。

**答**【上下水道部長】水道基本使用料と量水器使用料の半額減免の実施で、3期6カ月分の減免に要する費用は約3.6億円で、事務費は約300万円である。

**問**12月に議員団で市長に緊急申し入れをしたが、水道料金や国保料の減免など経費がかからず、国の交付金が市民の懐に多く入るような支援策をすべきだ。

### 近鉄小倉駅東側の整備の進捗状況は

**答弁** 令和7年3月に基本計画を策定し、令和9年度の事業認可を目指している

**問**近鉄小倉駅東側の整備の進捗状況はどうか。

**答**【都市整備部長】令和7年3月に近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画を策定し、府との協議や土地区画整理事業による事業計画などを検討しており、令和9年度の国の事業認可を目指している。

## 行政視察報告

### 議会運営委員会

日程：1月22日～23日

◆視察先・視察項目

【福岡県筑紫野市】

- 議会基本条例の評価・点検について
- ICTの取組について

【佐賀県佐賀市】

- 議会運営等改革検討会（議会基本条例の検証）について
- ICTの取組について

### 文教・福祉常任委員会

日程：1月19日～20日

◆視察先・視察項目

【東京都武蔵野市】

- 武蔵野プレイスについて

【東京都豊島区】

- 介護予防・フレイル予防について



※詳しい報告内容は市議会ホームページをご覧ください。

### 会派の異動

令和7年12月26日付で会派の変更届が提出されました。

**旧名称** 自民党宇治市会議員団

**新名称** 自由民主党・日本維新の会宇治市会議員団

※会派の構成等については市議会ホームページをご覧ください。

### 広報委員会委員の変更

◆令和7年12月26日付で自由民主党・日本維新の会宇治市会議員団より変更届が提出されました。

⑩ 西川 康史 委員 → ⑨ 藤田 智晴 委員

◆令和8年1月13日付で新たに佐々木真由美議員が広報委員会に所属されました。

## 議会をご覧ください

### 本会議の傍聴について

議会棟4階の傍聴席入り口で、住所、氏名を受付票にご記入いただき、受付箱に投函の上、資料を取って議場傍聴席にお入りください。

傍聴席に  
モニターを設置

傍聴席でリアルタイムに字幕付きの映像が見られます。(一般質問時に実施)

質問や答弁の内容が文字化され、やり取りの様子が映るため、聴覚に不安のある方も含め、皆様に分かりやすく議会をご覧くださいことができます。

### 委員会等の傍聴について

議会事務局で傍聴申込書に住所、氏名、傍聴を希望する案件名を記入して委員長(議長)に申し込みをしてください。委員長(議長)は原則として許可し、「傍聴許可証」を交付します。開会予定時刻の30分前で定員(第1・第2委員会室は10人、第3委員会室は20人)を超える場合は抽選、超えない場合は先着順となります。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
(電話:0774-20-8747)

アンケート  
はこちら



議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください



## 本会議や委員会の映像 配信中

議会での活発な議論が  
リアルタイムでご覧いただけます!

宇治市議会では、本会議や常任委員会等の映像をインターネットで配信しています。



上の二次元コードを読み取ることで宇治市議会 YouTube のリンク先にアクセスできます。

市議会ホームページからでもアクセスできます。

### ～ホームページからの閲覧方法～



- ① 宇治市議会トップページ
- ② 左側のバナー 上から二つ目「議会中継」をクリック

※宇治市議会トップページ最下部の公開用スケジュールからもアクセスできます。

## 次回定例会のお知らせ 2月17日～3月25日 開催予定

令和8年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 議会運営委員会	11	12	13	14
15	16 議会運営委員会 請願提出締切	17 本会議 (開会・提案説明時)	18	19 議会運営委員会 本会議・全員協議会 予算特別委員会	20	21
22	23	24	25	26	27	28
		本会議(一般質問)			予備日	

令和8年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		常任委員会				予算特別委員会
8	9	10	11	12	13	14
		予算特別委員会				議会運営委員会 本会議
15	16 予算特別委員会 (実地調査)	17	18 予算特別委員会 (総括質疑)	19	20	21
22	23	24 議会運営委員会	25 本会議 (閉会)	26	27	28

最新の情報は市議会ホームページにてご確認ください。